



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 納富 継宣
(コード:4549 東証プライム)
問合せ先 執行役
経営管理統括部長 工藤 知博
(TEL. 03-5846-3379)

(開示事項の経過) 当社主要株主であるダルトンとの対話状況に関するお知らせ (3)
ならびに株主提案撤回に関する書面の受領および撤回に対する同意のお知らせ

当社は、2025 年 4 月 28 日付プレスリリース「(開示事項の経過) 当社主要株主であるダルトンとの対話状況に関するお知らせ (2)」(以下、「4 月 28 日付プレスリリース」といいます。)において開示したとおり、本年 4 月 21 日に当社の発行済株式の 25.77%を保有するニッポン・アクティブ・バリュー・ファンドの共同保有者であるダルトン・インベストメンツ・インク(以下、「ダルトン」といいます。)が運用するファンドであり、当社株主である、ダルトン・キズナ(マスター)ファンド・エルピー(以下、「本提案株主」といいます。)より本年 6 月 24 日開催予定の第 87 期定時株主総会(以下、「本総会」といいます。)における株主提案権の行使に関する書面を受領いたしました。

当社は、本年 3 月 24 日付プレスリリース「当社株主であるダルトンとの対話状況に関するお知らせ」、および 4 月 28 日付プレスリリースにて開示のように、当該株主提案(以下、「本株主提案」といいます。)の内容について、検討を重ねてまいりましたが、本日、指名委員会において、本株主提案に係る取締役候補者 6 名(以下、「本株主提案候補者」といいます。)のうち、木野瀬祐太氏(以下、「木野瀬氏」といいます。)、戸田達喜氏(以下、「戸田氏」といいます。)の 2 名を以下に述べる理由により本総会において会社提案の取締役候補者とすることを決定しており、取締役会も当該決定を支持することを決議しております。なお、木野瀬氏、戸田氏以外の会社提案の取締役候補者につきましては、本日付プレスリリース「取締役候補者の選任に関するお知らせ」(以下、「取締役候補者選任プレスリリース」といいます。)をご確認ください。

本株主提案の撤回に至る経緯

当社指名委員会は、本年 3 月 11 日に、本総会に向けて、取締役候補者を 3 名(以下、「当初株主提案候補者」といいます。)推薦したいという趣旨の書面を受領したことを受け、正式な株主提案権の行使に先だって当社が推進する企業価値向上策の内容・方向性に照らして当社の取締役とすることが適切か否かを判断するべく、当初株主提案候補者 3 名と個別面談を実施いたしました。その後、本年 4 月 21 日に、当初株主提案候補者 3 名に新たな候補者 3 名を追加した 6 名を取締役候補者として推薦する旨の本株主提案を受領したことから、指名委員会は当初株主提案候補者 3 名を含め本株主提案候補者 6 名全員と改めて個別面談を実施しました。

当社指名委員会では、これらの面談を通じて以下の諸点について検討しております。

- ・ 当社の定款上の取締役の上限員数は10名であるところ、本株主提案候補者6名全員を受け入れれば、特定の大株主の推薦する取締役が当社取締役会の過半を占有することになることから、当社取締役会の独立性を損なう恐れがあること
- ・ 他方で、本株主提案候補者の中には、当社指名委員会が従前から検討課題に位置付けてきた「資本市場の視点からの当社の取り組みの評価・監督」を期待できる人材が含まれており、ダルトンからの独立性の担保を前提とした上で、各候補者のスキル、専門性、当社取締役会全体のスキルセットなどを総合的に考慮した結果、本株主提案候補者6名のうち木野瀬氏と戸田氏の2名を当社の取締役候補者として追加することが、当社の企業価値向上の観点から望ましいと判断したこと
- ・ 木野瀬氏・戸田氏との面談においては、①両候補者が、ダルトンとの間で金銭的・経済的な利害関係を有していないことを確認できたこと、②両候補者が、ダルトンとその関連会社との情報遮断等を規定した誓約書を当社の取締役会に対して提出する意向を有していることを確認できたこと、③当社が昨年来ダルトンから受けていた株式非公開化の提案においては、ダルトン以外の当社の一般株主の皆様との間で利益相反が生じる可能性があるところ、両候補者からは、当該ダルトン提案を所与とせず、当社の株主共同の利益の観点から独立した立場で取締役会の審議に参加する意思を有していることを確認できたこと

以上のような経緯等を踏まえ、当社の取締役会および指名委員会は、木野瀬氏と戸田氏を当社の会社提案の取締役候補者とすることを決定し、取締役候補者選任プレスリリースにおいて開示しております。

なお、当社の上記決定を受け、本提案株主からは本株主提案について撤回する旨の通知を受けており、本日開催の取締役会において本株主提案の取り下げについて同意し、本総会に本株主提案を上程しない旨を決議いたしました。

当社は、当社のディスクロージャーポリシーやコーポレートガバナンス・コード等の趣旨を踏まえ、機関投資家株主や投資家の皆様との対話を積極的に行っております。また、状況によっては当社の社外取締役が自ら株主との対話に臨むなど、当社の持続的な企業価値向上・株主価値向上にとって有用と思われる株主の意見を、取締役会での議論に反映させることに努めております。引き続き、当社の業価値向上・株主価値に向け機関投資家株主や投資家の皆様との建設的な対話を継続してまいります。

以上